

2024 年度 高大接続入試【国際思考型】国際学部 講評

〈第一次選考〉レポート提出

以下に提示されたテーマについて、国際学部の入学者受入れの方針をよく読んだ上で、日本語 2,000 字以上 2,200 字以内でレポートを作成するというものでした。

【国際学科(国際人間学専攻、国際政治学専攻、国際経済学専攻)】

国内外の国際時事に関して、具体的にどのような問題やトピックに関心を持っているのか。また、それに対して、将来どのように関わりたいと考えているのか。なお、レポート作成の際には、これまでの経験や国際学部国際学科を志望する理由、入学後の学習計画、卒業後の進路希望なども含めること。

【言語文化学科(複言語・複文化学専攻、英米学専攻)】

言語や文化のどのような側面に関心を持っているのか。また、言語や文化に関する深い知識と複言語・複文化能力を有し、将来、国際社会においてどのような活躍を志すのか。なお、レポート作成の際には、これまでの経験や学科を志望する理由、入学後の学習計画、卒業後の進路希望なども含めること。

第一次選考のレポート審査では、全体として、課題に的確にかつ説得的に答えられているかどうかで評価しました。具体的には、次の3点に注目しました。(1) ウェブページや大学案内、学部のパンフレットなどの資料で志望する学科・専攻について十分調べたか。(2) 学科所属の教員名、開講授業名、学部の特徴などにも言及しながら、これまでの経験や入学後の学習計画、将来の進路希望などをわかりやすく記述できているか。(3-1) 国際学科：国際時事に関する自分なりの問題関心を、具体的なニュースなどに言及しながら、説明できているか。(3-2) 言語文化学科：言語や文化、またはその両方のどのような側面に関心を持っているかを自分のことばで説明できるか。

〈第二次選考〉日本語によるプレゼンテーションと質疑応答にて総合判定

面接官 2 名に対して提出したレポートについてのプレゼンテーションを 5 分以内で行っていただきました。その後、プレゼンテーションをふまえた上で、質疑応答を行いました。

プレゼンテーションでは、提出したレポート内容を論理的に説明しているか、資料を適切に選んでいるか、口頭で明確に説明できているか等を評価しました。その後の質疑応答では、レポートやプレゼンテーションの内容を自分の言葉で説明できるか、入学後の学修計画について、本学部について理解したうえで検討しているか、といった点を中心に判断し、将来の進路についての考え方なども参考に総合判断しました。

事前にホームページ等で学部カリキュラム等をしっかりと理解したうえで、入学後の学修

計画を考えている受験生は高い評価を得られますし、入学後の成長も期待できると考えています。国際学部は人文科学と社会科学の広い学問分野にわたる専攻に分かれており、学問分野の相違によって各専攻での教育内容に違いがあります。受験生は、ウェブページや大学案内、学部のパンフレットなどの資料で十分に調べ、不明な点がある場合は、オープンキャンパスなどを活用して疑問点を明らかにすることをお勧めします。